

第7期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価書（令和2年度下半期）

(3) 認知症施策の推進

| 評価項目                                      | 分野        | 年間<br>目標値   | 年間<br>実績値 | 下半期<br>実績値 | 達成度 |
|---|-----------|---|-----------|------------|-----|
| 1. 認知症に関する知識の普及・啓発                        |           |   |           |            |     |
| ⑦認知症サポーター養成講座に参加した市民の数（人）<br>※累計値         | 介護<br>地域  | 5,280   | 5,360     | 5,360      | A   |
|   |           | チームオレンジの始動に向けて、講座参加後のフォローについて体制整備を行う。                     |           |            |     |
| 2. 家族介護への支援                               |           |   |           |            |     |
| ⑧介護休暇制度を実施している事業所数（件）<br>※累計値             | 介護        | 未設定   | 157       | 157        | B   |
|   |           | 目標値の設定が3年間で明確にはできなかった。状況調査結果を踏まえ、啓発結果の効果測定や今後の事業展開の検討が必要。 |           |            |     |
| ⑨認知症家族支援プログラムの受講者数<br>※隔年実施事業（人）<br>※累計値  | 介護        | 17  | 8         | 8          | C   |
|   |           | 認知症支援者のニーズに合わせた新しい生活様式下でのプログラム開催の工夫が必要。                   |           |            |     |
| ⑩認知症介護家族交流会の実施回数（回）<br>※年間合計              | 介護        | 12  | 7         | 3          | B   |
|   |           | 周知方法や新しい生活様式下での事業実施への工夫を引き続き行う。                           |           |            |     |
| ⑪ひとり歩き高齢者家族支援のサービス新規利用者数（人）<br>※年間合計      | 介護<br>住まい | 30  | 53        | 17         | A   |
|   |           | 関係機関との連携が深まり、必要な状態になった際、すぐに申請するケースが増えた。                   |           |            |     |
| ⑫認知症カフェ登録事業者（ヶ所）<br>※平成28年10月事業開始<br>※累計値 | 介護        | 11  | 12        | 12         | A   |
|   |           | 周知方法の工夫の結果、新規事業者の登録があった。                                  |           |            |     |

（次頁へ続く）

| 3. 権利擁護の促進                              |                 |  |           |            |     |
|---|-----------------|--|-----------|------------|-----|
| 評価項目                                    | 分野              | 年間<br>目標値  | 年間<br>実績値 | 下半期<br>実績値 | 達成度 |
| ⑬成年後見制度の普及啓発事業の<br>開催数（回）<br>※年間合計      | 介護<br>住まい       | 6  | 9         | 6          | A   |
|   |                 | 開催方法の工夫により新しい生活様式における事業実施ができた。                     |           |            |     |
| ⑭市民後見人として登録している<br>市民の数（人）<br>※累計値      | 介護<br>住まい<br>地域 | 9  | 7         | 7          | B   |
|   |                 | 周知方法等の工夫を行ったが、今年度は登録者数の増加にはつながらなかった。               |           |            |     |
| ⑮消費生活出前講座実施件数（件）<br>※年間合計               | 住まい             | 5  | 2         | 2          | C   |
|   |                 | 新しい生活様式下での消費者被害防止に向けた啓発活動の方法検討が必要。                 |           |            |     |
| 4. 認知症初期集中支援チームの推進                      |                 |  |           |            |     |
| ⑯認知症初期集中支援チームのチ<br>ーム員会議開催数（回）<br>※年間合計 | 介護              | 24   | 16        | 11         | B   |
|   |                 | 開催方法の工夫により新しい生活様式下においても定期的に関係機関とのケース検討の機会を確保できた。   |           |            |     |
| 5. 認知症地域支援推進員の配置                        |                 |  |           |            |     |
| ⑰認知症地域支援推進員の配置人<br>数（人）<br>※累計値         | 介護              | 3  | 3         | 3          | A   |
|   |                 | チームオレンジにおいて認知症地域支援推進員は重要な役割を担うため、引き続き体制を整備する必要がある。 |           |            |     |

- A 達成できた
- B おおむね達成できた
- C あまり達成できなかった
- D 達成できなかった

|      |
|------|
| 総合評価 |
| B    |

（次頁へ続く）

#### 担当部署評価

多くの項目において、新しい生活様式下においても開催方法を工夫することで安定した事業実施ができているため、引き続き取り組みを進めたい。令和3年度から本格的に始動するチームオレンジにおいて重要な役割を果たす事業も多くあるため、今後もそれぞれの事業の役割を安定して発揮できるよう、今年度継続ができなかった事業においても開催方法等を工夫したい。  
(※チームオレンジ…)

#### 評価委員会評価

新型コロナウイルス対策の影響を受けやすい項目が多くある中で、Web 会議の活用等対策を講じたことで下半期実績値を伸ばしており実施内容においては良好。第8期計画に向けて、評価指標の見直しや事業内容を評価できる仕組みも含め検討してほしい。